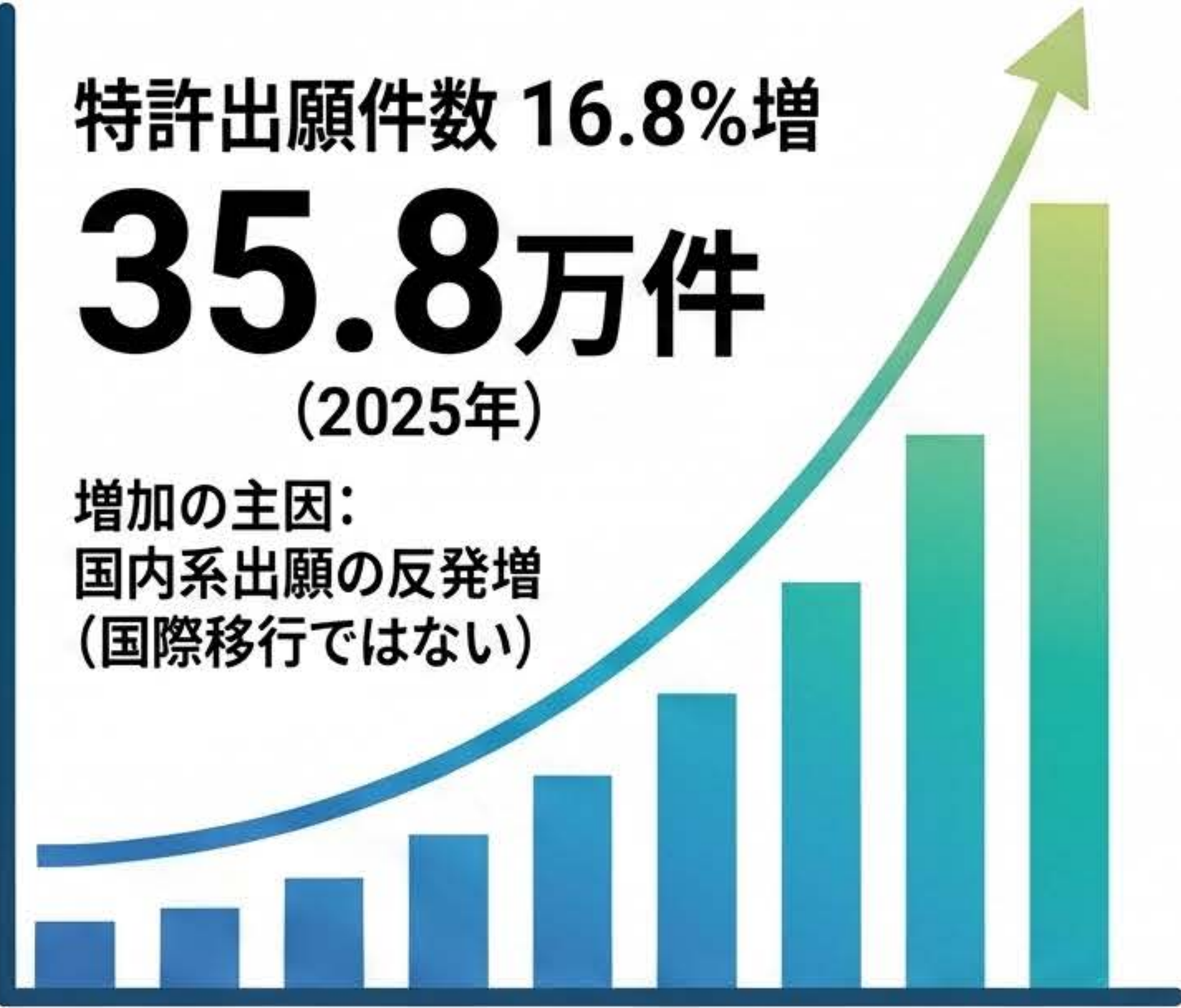


2026年版特許行政年次報告書の要点：AI共生と出願急増が変える知財の未来

出願統計と運用の現状：記録的な特許増と審査への影響



主要3権利の出願件数と前年比変化

権利種別	2025年出願件数	前年比増減
 特許	358,317件	+16.8%
 意匠	31,853件	-0.7%
 商標	168,114件	+5.9%

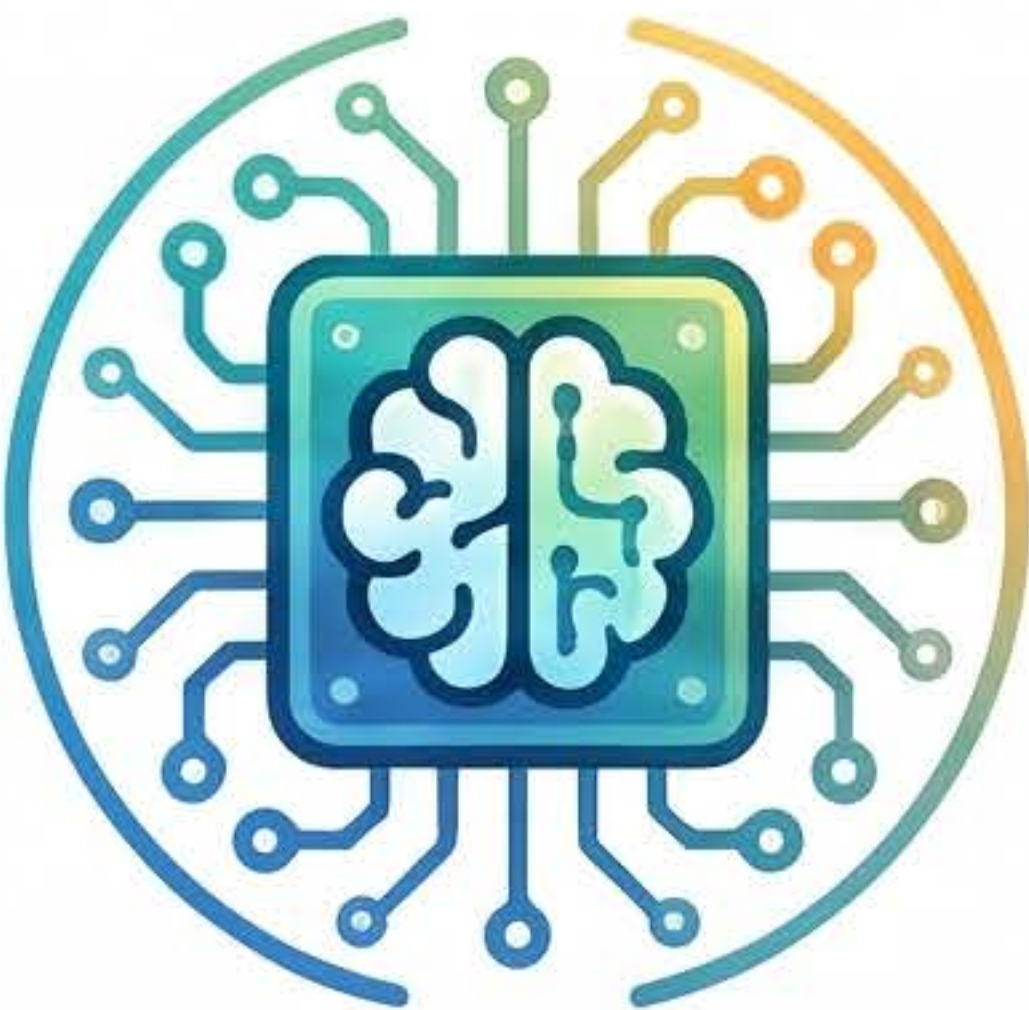


特許審査期間 (FA)
9.4か月へ伸長
出願急増の影響。意匠・商標
が短縮する中で特許のみ悪化。



早期審査 (FA)
平均2.3か月を維持
重要案件を迅速に処理する
体制は堅持。

未来への展望：AI活用と制度改正の主戦場



JPO AIビジョン：
人間中心のAI導入
高品質な行政サービスと
リスク対応。AIを前提に再設計。



生成AIによる自動インデックス
付与「GAIA-Index」の試行
審査業務の高度化と迅速化。
検索インデックスを自動生成。



ネットワーク発明と
仮想空間デザインの保護検討
今後3～5年でDX時代にふさわし
い制度へと法改正が期待。



出願急増の影響。意匠・商標が
短縮する中で特許のみ悪化。